

「年寄りのこだわり」 私の趣味の作品

加藤 誓 (ちかい)

「作品提出能力」がない私にとって「趣味の作品展目録作成」は、唯一の「趣味の作品」です。
昨年目録の作成に当たって一番注意を払ったのは、「お名前」です。

渡辺・渡邊・渡邊 なのか、
山崎・山崎・山崎 なのか、
己・巳・巳 なのか、
国・國・圀 なのか。



いくら注意しても、本人でない方が間違えて提出した場合は、どうしようもありません。

単なる勘違いミス、 実→美 地→池 知→智 なども思い込みから
何回見ても、間違いと気付かないケースもありました。
次は、作品名です。



「私のホームページ」のところ達筆で

「私」を「ネム」と読んで失敗しました。
ハンドバック (KU) → ハンドバック (GU) なのか。
リホーム → リフォームなのか。
着目込み → 木目込みなのか。
(3者とも後者が正しいのですが)

また、茶椀 (きへん) (木製) —— 茶碗 (いしへん) (陶磁器) なのか。

「奇子」とあり木工とか工芸なら「椅子」の間違いと気付きますが、手芸とあり悩みました。
結果は牛乳パックで作った椅子で、種目「手芸」で納得出来ました。

また、手芸の専門用語 (女性にとっては、普通の用語でしょうが、
私には チンプンカンプンの用語)

タッセル・フルールブランケット・
プルオーバー・カルトナーージュなど、
カタカナ用語は インターネットで調べました。

その時は大変勉強になりましたが 1日経つと忘れまして。
刺繍のピナップル編みだけは覚えることが出来ました。



カタカナは、魔物です。以前「カナリア」で題を頂きましたが、作品を預かったところ
「ツバキの花」だけで「鳥」がいません。

ハッと、気付きました。 ツバキの英語は「カメラリア」だ。



最近 STAY HOME のためなのか、どうでもいい様なことにも

妙にこだわり、くどくなりました。

いや、それは私が年寄りになった証拠なのです。